

提出された意見と市の考え方

■たはら農業プラン(2018-2027)中間改定(案)の内容に関する意見

No.	該当ページ	提出された意見	市の考え方
1	40	田原市では、渥美半島ブランドを推進しているのので、農産物プロモーションでも統一ブランドとして渥美半島ブランドのPRを記載してください。	頂いたご意見を参考に、40頁の「農産物プロモーション」の取組内容に、「渥美半島ブランド」について記載します。

■その他(参考として取り扱う意見)

No.	該当ページ	提出された意見	市の考え方
2	—	市外から毎日大型トラックが未完熟たい肥(汚泥)を農地に投入しているのので、農地の適切な対策のための条例の制定を環境保全型農業の推進に記載してください。	ご意見については、計画に取り組むなかでの参考意見とし、原案のとおりとします。
3	44	集落内の道路は幅員が狭く不便ですのので、狭隘道路の拡幅を農村生活環境の整備に記載してください。	ご意見については、計画に取り組むなかでの参考意見とし、原案のとおりとします。
4	—	今後の田原市の農業についてSDGs、みどりの食料システム戦略 田原市独自の政策を作成しプランに入れる事が大事ではないかと考えます。 環境保全型農業の推進として 農薬 化学肥料を使わない農法を実践している有機農業者の存在をプランに明記し、その技術、方法の啓発を行う。	ご意見については、計画に取り組むなかでの参考意見とし、原案のとおりとします。

		<p>例 米づくりでは、害虫といわれているジャンボタニシによる除草効果は非常に高く、除草剤使用の効果と全く変わりません。厄介者の稗はイネ科なので、除草剤でなくすことが出来ず、人間の手で抜かない限り、広がるばかりです。近年は米価の下落も影響してか、稗と除草剤耐性と思われる外来植物に覆われた田んぼが目立ちます。タニシ除草は水管理の要領を覚えれば、誰でも可能、経費削減、農薬削減、環境にやさしいコメづくりが出来ます。地域全体で取り組み有機米、減農薬米のお米が出来ます。</p>	
5	4 1	<p>安全安心な農産物を子ども達の給食に有機米、有機野菜給食を実践している自治体が少しずつ増えています。オーガニックな農産物の生産、販売は農家数が増えることで、地域産業としての経済効果はあると考えます。</p> <p>行政による支援策があれば更に良いと考えます。田原市の保育園 学校給食に有機米 オーガニック野菜を使用する政策があれば、農家経営の新しい選択肢が出来ると考えます。</p>	<p>市としては、引き続き環境保全型農業の推進を図ります。</p>
6	4 2	<p>基本施策 多様な取り組みについて 持続可能な農業経営 経営スタイル 家族経営を基本とし地域資源活用型で暮らしを豊かに</p> <p>外国からの肥料、資材、人材で成り立つ農業から、小回りが利く地域資源活用型農業を考え、小さな経営で大きな安全安心を得る昔型農業も一つの選択であると考えます。移住者が考える半農半Xにはこの様な形態が良く、多くの人々が憧れる農的暮らしではないかと思えます。</p>	<p>市としては、多様な農業形態を支援します。</p>
7	—	<p>週末、農作業小屋付き農地 農的暮らしに憧れる都市の人々、農地を</p>	<p>ご意見については、計画に取り組むなかでの参考とさせていただきます。</p>

	<p> 持て余す田原の農家のミスマッチをマッチングできる方法はないものかと思案しています。小屋付き農地で週末農業を掲げ、クライנגアルテンという名称で自治体が運営しているところもあります。週末は家族で田舎に出かけ農作業、野菜をつくり食卓に並べ、ゆったりくつろぐ、子どもを自然環境の中で育てたい、親も土に触れたい、野菜づくりを楽しみたいという都市住民の願望から生まれた需要。デジタル化が進む今後、需要は増えるが減ることはなく、環境整備されたきれいな農村は魅力が満載、癒しと人間回復の場になっていくと思われまます。老朽施設付き耕作放棄地、高齢化による農地売りなど、益々増加する無価値な農地活用として考えてみるのも良いのではないかと思います。農地に小屋建設は、届け出のいらない面積の小屋にトイレ、年間の賃貸料が 20 万～30 万円が農家収入になれば暮らしの質アップにもなり都市住民と農民のミスマッチが少し改善できるのではないのでしょうか。 </p>	
8	<p> 女性視点の農業 暮らしの中に畑、温室 野菜があり、花があり、子ども高齢者 障害者がいて非効率率は当たり前、子どもの教育、親の介護と両立させ粘り強く働き、家庭 地域で活動し農業の一翼を担う女性達。 経済第一、力強く元気に攻める農業 強い経営という男性の視点とは違う発想、見方、考え方が生まれますが、生かされることは稀です。 斯様なことからプラン作成の際の委員は男女共同参画、ジェンダー平等の視点から将来にわたり、男女半々が良いと考えます。 </p>	<p> 今後も女性の意見を取り入れながら、プランの実現を目指していきます。 </p>